

## 学会ニュースNo.102 トピックス

- ・2011年度(第66回)総会・研究発表大会プログラム
- ・秋季例会(福島), 講演会ならびに臨地研究会開催のお知らせ(第1報)
- ・立正地理学会研究委員会の募集(新規)
- ・会費納入のお願い

## 会 告

### ○2011 年度(第 66 回)総会・研究発表プログラム

日 時:2011 年 6 月 4 日(土)9:20 より

会 場:立正大学熊谷校舎アカデミックキューブ 2 階(発表会場 A201 教室・会員控室 A204 教室) \*前号案内をいたしました教室が変更になりました。

- 《**口頭発表 1**》 9:20~10:20 \*は発表者 発表時間:口頭発表は20分(質疑応答を含む)
- 09:20~09:40 伴 麻佐樹:地位層のモザイク・二重の覆蔵・景観束
- 09:40~10:00 長坂政信(立正大):都道府県名認知に関する中学生と大学生の比較
- 10:00~10:20 多田統一(都立荒川商業高):産業考古学と地理学・地理教育について  
—東京産業考古学会の活動を通して考える—

#### 《**口頭発表 2**》 10:20~11:20

- 10:20~10:40 谷口智雅(三重大) \*・香川雄一(滋賀県立大)・山下亜紀郎(筑波大)・  
加藤政洋(立命館大):アジアメガシティの土地利用変化と地形図収集
- 10:40~11:00 畑中 寛(熊本学園大・非):地域再生戦略としての地域ブランドの現状と課題
- 11:00~11:20 上村康之(NPO 法人あきた市民政策支援ネットワーク):青森市におけるコンパクトシティを軸とした中心市街地活性化の実態と課題

#### 《**ポスター発表紹介**》11:20~11:30(各発表1分程度)

※掲示時間は10:00~16:00, コアタイムは13:20~13:40とします。

- P1 小川滋之(千葉大・院):秩父山地においてカバノキ林が形成される立地環境
- P2 片柳 勉(立正大):旧城下町における景観創出の歴史的連続性
- P3 河野 忠(立正大) \*・西野可奈子(川崎地質)・鈴木康久(京都カップ研究会):「都名水視競相撲」(1802年)にみる京都の名水
- P4 崎浜 靖(沖縄国際大) \*・鈴木厚志(立正大):近代西表島におけるマラリア有病地の空間表現
- P5 島津 弘(立正大):22 Feb. 2011 Christchurch Earthquake の被害分布と地形
- P6 助重雄久(富山国際大) \*・佐竹里菜(富山国際大・学):わかりやすい観光案内地図の条件—地図の統一化を図る金沢市と他地域との比較—
- P7 鈴木重雄(立正大):滑川町上山田における耕作放棄地の植生変化

2011年5月

P8 保戸塚 諒(富士見中高)\*・原 美登里(立正大)・浅賀加奈子・遠藤彩菜・大野直哉・加藤未来・菊地郁恵・酒井拓明・佐藤竜也・佐藤亮太・田村健太郎・照井夢丸(立正大・学):熊谷市における商業構造の変化―鎌倉町商店街を事例として―

《総会》11:30～12:20 研究発表大会会場で行います。  
田中啓爾記念地理学奨励賞授与式

《昼休み》12:20～13:20

《ポスター発表のコアタイム》13:20～13:40

《口頭発表 3 》13:40～15:00

- 13:40～14:00 重見之雄:第2次製塩地整理覚え書き(その5)―広島県松永湾沿岸塩田の調査資料を中心として―
- 14:00～14:20 三上絢子(法政大・沖縄文化研究所):米軍統治下における奄美と沖縄との間の人の移動と非正規交易
- 14:20～14:40 河野 忠(立正大)\*・西野可奈子(川崎地質)・鈴木康久(京都カッパ研究会):「都名水視競相撲」(1802年)にみる京都の名水と洛中洛外図屏風との関係
- 14:40～15:00 戸田真夏(青山学院大・非):ネパール、トリスリ川上流域における集落立地と地形との関係

10分 休憩

《口頭発表 4 》15:10～15:50

- 15:10～15:30 元木理寿\*・石塚耕治(常磐大):東日本大震災による茨城県の地域的被害状況
- 15:30～15:50 渡辺 拓:福島放射能汚染

《会長講演》

15:50～16:50 堂前亮平(久留米大):南島(奄美・沖縄)の社会空間

《懇親会》17:00～19:00 ステラ1階

《地理写真展示》※掲示時間は10:00～16:00

- G1 島津 弘(立正大):震災前の被災地写真 22 Feb. 2011 Christchurch Earthquake―Christchurch, NZ. 地震発生4日前―
- G2 山田淳一(立正大):震災前の被災地写真 2011.3.11 東日本大震災―岩手県大船渡市、6分前まで―
- G3 助重雄久(富山国際大):空からみた津波被災地―3月13日・根室中標津→羽田便からみた三陸海岸―
- G4 高田明典(立正大):福島県中通り地方における地震被害
- G5 多田統一(都立荒川商業高):大学の資料館から学ぶ―東京海洋大学水産資料館・百周年記念資料館―
- G6 神田道男(立正大・院):セネガルの水辺

## ○秋季例会(福島)・講演会・臨地研究会開催のお知らせ(第1報)

第35回立正地理学会秋季例会ならびに第40回講演会(予定)を10月29日(土)に、第108回臨地研究会を翌日10月30日(日)に、福島県二本松市およびその周辺にて実施する予定です。日時・場所に関するご案内は、7月上旬頃、立正地理学会ホームページ(<http://www.ris.ac.jp/geosoc/>)にてお知らせします。皆様の参加をお待ちします。

口頭発表は電子メール([geosoc@ris.ac.jp](mailto:geosoc@ris.ac.jp))か、立正地理学会事務局までハガキにてお申し込みください。締切日は8月31日(水)とさせていただきます。

## ○立正地理学会研究委員会の募集(新規)

2011年度の研究委員会を募集します。希望者は下記に示した「立正地理学会研究委員会に関する規程」を熟読の上、規程5の内容を明記した趣旨書を、立正地理学教室長坂副常任委員長あて(住所等は最終ページに記載してあります)に郵送で提出してください。6月30日(木)を締切日(必着)といたします。ただし、研究委員は本学会会員に限ります。複数の応募があった場合は調整いたします。

### 立正地理学会研究委員会に関する規程

1. 委員会の設置:立正地理学会に、研究委員会をおくことができる。
2. 目的:研究委員会は、地理学の研究・教育に資する成果を挙げることを目的とし、その調査・研究に対して、学会より研究費を補助する。
3. 委員会の所轄:研究委員会の募集・決定・審査・成果の開示等に関する一連の管轄は、副常任委員長が行う。
4. 募集の説明:副常任委員長は、当該年度の総会時において募集内容・提出期限について説明する。
5. 委員会の設立:委員会の設置を希望する会員は、委員会の代表者となり、研究テーマ、会員名(5名以上で組織する)、募集人員、研究期間、研究の目的、予測される成果を明記して、副常任委員長に提出する。
6. 委員会の募集:副常任委員長は、提出された代表者名、研究テーマ、研究期間、募集人員等を学会ニュース、学会ホームページに掲載し、委員を募集する。
7. 委員会の成立:副常任委員長は、会員の応募状況をもとに委員会の成立の可否を検討し、その成果を代表者に伝える。
8. 委員会の発足:成立をみた委員会は、代表者が中心となって活動を行う。
9. 委員会の年限:委員会の活動期間は2年とする。ただし、その後1年間の延長を可とする。その場合、委員会の代表者は研究の中間報告書と延長する理由書を、副常任委員長に提出しなければならない。
10. 研究費は、1研究会に対して年額5万円を上限とする。
11. 会計報告:会計年度は、立正地理学会の会計年度に準じる。研究期間内の途中にあつては、当該年度の収支報告書に領収書を添えて、副常任委員長に提出しなければならない。
12. 委員会の終了:研究委員会の終了時には、終了報告書と領収書を添えた収支報告書を副常任委員長に提出しなければならない。

13. 成果の公表: 研究委員会の活動中にあつては、立正地理学会研究発表大会等において、中間報告を行うことが望ましい。なお、研究委員会終了後は、口頭発表のほか、『地域研究』にその成果を投稿するものとする。

## ○会費納入のお願い

2011年度分の会費は8月前後に送付予定の払込取扱票にてご納入下さい。なお、立正地理学会総会・研究発表大会の当日は、受付にて会費をご納入頂けます。過年度分会費が未納の方は、過年度分もあわせてご納入願います。会費および郵便振替口座の番号・加入者名は下記の通りです。

一般会員 4,000 円 学生会員 2,500 円  
00130-8-13453 立正地理学会

なお、他の金融機関からお振込みされる際にご指定頂く口座は、以下のとおりとなります。お振込みの際は、振込人氏名が会員ご本人の氏名となっておりますことをご確認頂きますよう、お願い申し上げます。

銀行名	ゆうちょ銀行
金融機関コード	9900
店番	019
店名(カナ)	〇一九店(ゼロイチキュウ店)
預金種目	当座
口座番号	0013453
カナ氏名(受取人名)	リッショウチリガクカイ

※学会ニュースや地域研究などの送付先の変更が生じましたら、お早めに立正地理学会までご連絡下さい。また、住所変更のご連絡がなく、新住所のみご記入され、氏名のご記入のない場合には、どなたのお振込みか不明となります。ご入金の際には、払込取扱票の払込人住所氏名の欄に必ず住所と氏名をご記入頂きますよう、お願い致します。

(庶務会計委員会)

## 編集後記

3月11日に東日本を襲った大震災に対し、被災地の皆様には心からお見舞い申し上げます。まだまだ余震が続き心落ち着かない毎日ですが、被災地の皆様が一日も早く心身ともにお元気で少しでも心穏やかに暮らせる日が訪れますことを願うとともに、会員の皆様のご健康をお祈りいたします。

(広報委員・須田 恵里香)

## 立正地理学会ニュース No.102

2011年5月16日発行 編集者 立正地理学会広報委員会  
発行者 立正地理学会 〒360-0194 熊谷市万吉1700 立正大学地理学教室内  
電話 048-539-1672 振替 00130-8-13453